

ジェットタオルに関するQ & Aと正しい使い方について

三菱電機ホームページ（下記URLより抜粋）

https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/air/products/jettowel/advantage/detail_04.html



Q

ジェットタオルの使用は新型コロナウイルス感染に直接的な関係がありますか？



A

厚生労働省の発表では、感染者のくしゃみ、咳、つばなどと一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から直接吸い込んで感染するとされています。

ジェットタオルは室内空気を搬送しているため感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）そのものを直接、飛散させるものではありません。したがってジェットタオルの使用が、その他乾燥手段に比べて感染リスクを高める要因になるとは考えていません。



Q

そうなんです。となると、ジェットタオルは使用しても良いんですか？
また、使用する上で気を付けることはありますか？

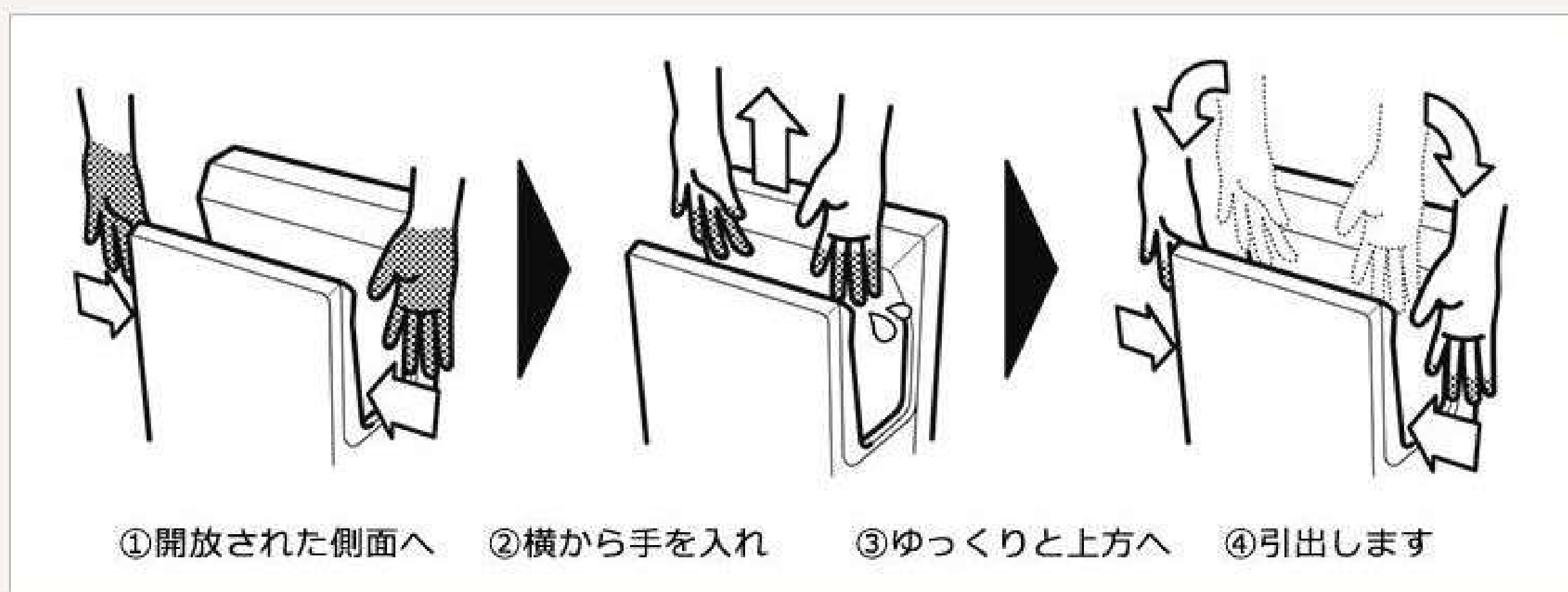


A

ジェットタオルは非接触式なので、定期的な清掃を前提に、正しく手を洗い、正しくお使いいただければ問題ないと考えています。

ジェットタオルの正しい使い方

ジェットタオルの正しい使い方とは、下記①～④を数回繰り返す乾かし方です。



また、手を洗った後は手乾燥が重要だと考えています。手が濡れたままだとアルコールの効果も薄れてしまいます。「手洗い」→「手乾燥」→「アルコール」の手順遵守が大切です。

※ 当手洗いマニュアルは新型コロナウイルスへの感染対策として有効性を実証・表現したものではありません。

手洗い後のアルコール効果について

手洗い後、濡れた手の場合

✗

アルコール濃度は約**41%***1となり、
十分な効果は得られない





※1: 下記、当社試算データ参照

手洗い後、ジェットタオルで
手を乾燥させた場合

✓

アルコール濃度は約**65%***1となり、
適当な効果を得られる





※1: 下記、当社試算データ参照

厚生労働省アルコール度数推奨値

70%以上のエタノールが入手困難な場合には、60%台のエタノールを使用しても差し支えありません。(手が濡れていない場合)

【出典】厚生労働省 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html) を加工して作成。2021年3月現在。

■当社試算データ

試算内容：

手洗い後に、手乾燥を行わない場合と、ジェットタオルで手乾燥を行った場合の、両手残水量からアルコール濃度を試算。

試算結果：

乾燥手段	手の残水量 ※2	アルコール濃度	
無し	2.0ml	40.5w/w%	→ アルコール濃度 約 41%
ジェットタオル	0.3ml	64.9w/w%	→ アルコール濃度 約 65%

※2: 2.0ml → 手の大きさ等で残水量は変わるため、目安値。 0.3ml → 当社で定める乾燥時間における両手残水量。

〈試算条件〉

- エタノールと水の質量 (15℃) エタノール：0.794g/ml 水：0.999g/ml
- アルコール濃度と使用量 アルコール (日本薬局方消毒用エタノール) 濃度：72.6w/w% (76.9vol%) 使用量：3ml

※ 使用方法により効果は異なります。

三菱電機ホームページ (下記URLより抜粋)

https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/ja/air/products/jettowel/advantage/detail_04.html

ENDRESS Group